

昭和56年度派遣前専門家等中期研修
鉦工業コース(資源電力コース)実施要領(前期)

JICA

000

66

PLM

BRARY

国際協力事業団

受入 月日	'87. 5. 18	000
登録 No.	08531	66
		PLM

マイク
マイク



昭和56年度派遣前専門家等中期研修

鉦工業コース（資源電力コース）実施要領（前期）

国際協力事業団

1. 研修の目的

我が国の開発途上地域等に対する鉦工業技術協力の円滑な実施に資するため、我が国の鉦工業専門家等に対し、海外における国際協力に必要な基礎知識、語学等について研修を行うものとする。

2. 研修場所

国際協力事業団研修室（東京都新宿区市ケ谷本村町42経済協力センタービル内）及びその他の施設

3. 研修期間

昭和56年5月14日から昭和56年7月27日まで（75日間）

4. 定員 15名

5. 研修課程および日程

別紙のとおり、一般研修、語学研修及び専門研修の区分により実施する。

6. 受講の資格

将来開発途上地域等における鉦工業協力事業に専門家等として派遣が予定されるもので、かつ、鉦工業技術者としての能力を有すると認められる者で、次の各号に該当するもの。

(1) 年 令 おおむね30～45才

(2) 学 歴 大学において鉦工業に関する課程を修めた者、又はこれと同等の

専門的知識を有すると認められる者。

(3) 経 験 原則として5年以上の業務経験を有する者

7. 受講の申込み

研修を受けようとする者は下記により必要書類を添えて昭和56年4月18日までに事業団あてに申し込むこと。

申し込み及び連絡先：国際協力事業団鉱工業開発協力部

〒160 所在地 東京都新宿区西新宿2の1

新宿三井ビル

電話番号 03(346)5300

(1) 民間企業及び地方公務員等の場合

所属先の上申を取り付けた上申し込むものとする。(別紙様式1)

(2) 国家公務員の場合

通商産業省通商政策局長の推せん(別紙様式2)による。

なお、上記(1)、(2)の場合とも下記書類を添えて申し込むものとする。

ア 研修申込書	別紙様式1または2によるもの	1通
イ 履 歴 書	市販の用紙B5判によるもの	1通
ウ 写 真	3カ月以内に撮影の上半身無帽のもの	2枚
	寸法：5×5cm(裏面に氏名記入のこと うち1枚は履歴書に貼付)	

8. 必 要 経 費

事業団は、受講に必要な経費(旅費及び教材費等)を負担する。

9. 修了証書の交付

事業団は所定の研修課程を終了した者に対し修了証書を交付する。

10. 海外研修の実施

国内研修修了者の一部について、別に定める実施要綱に基づき海外研修（約3週間）を実施する。

目 11. 専門家登録

研修修了者は、全員事業団の派遣専門家登録を行う。

様式 1

昭和 年 月 日

国際協力事業団

理事 橋 敬 一 殿

所 属 先

所属長氏名 ()

下記のとおり派遣前専門家等中期研修を受けたいので、必要書類を添えて申し
込みいたします。

記

1. 研修コース名 資源電力コース
2. ふりがな氏名 (昭和 年 月 日生)
3. 現住所〒 電話番号
4. 勤務先 電話番号
5. 専門技術
6. 希望外国語(英語・西語)

様式 2.

文書番号

年月日

国際協力事業団

理事 橘 敬 一 殿

通商産業省通商政策局長 閣

このことについて下記の者を適当と認め推せんする。

記

受講研修コース名（資源電力コース）

ふりが 氏 名	年令 生年 (月日)	所 属	所属部課 係 名	最終卒業 学校名及び 卒業年次	採用 年次	専門分野	希望外国語 (英語又は 西語)	備 考

項目 区分	科 目	時 間 数	割 合
一 般 研 修	経済協力の概要	1 1.0	1 1.5 %
	発展途上地域の一般概論	2 7.0	
	小 計	3 8.0	
語 学 研 修	英(西)語基礎会話等	1 5 4.0	5 4
	英作文(西語研修)	2 5.0	
	小 計	1 7 9.0	
専 門 研 修	我が国産業の現状と国際協力	7.5	3 2
	開 発 理 論	1 2.5	
	プロジェクトの計画と評価	1 2.5	
	事 例 研 究	2 7.5	
	現 地 研 修	4 6.0	
小 計	1 0 6.0		
そ の 他	開・閉講式等	8.5	2.5
	小 計	8.5	
合 計		3 3 1.5	1 0 0 %

(参考)

1. 旅 費

- ① 東京近郊在住者(通勤可能者)に対しては、居住地又は勤務地から研修場所(市ヶ谷)までの往復の交通費実費(定期代)のみを支給する。
- ② 地方在住者に対しては、上京、帰郷旅費、研修期間中の滞在費(9,000円~7,200円/日)を支給する。

2. 宿 泊

事業団は、宿泊の斡旋はしない。

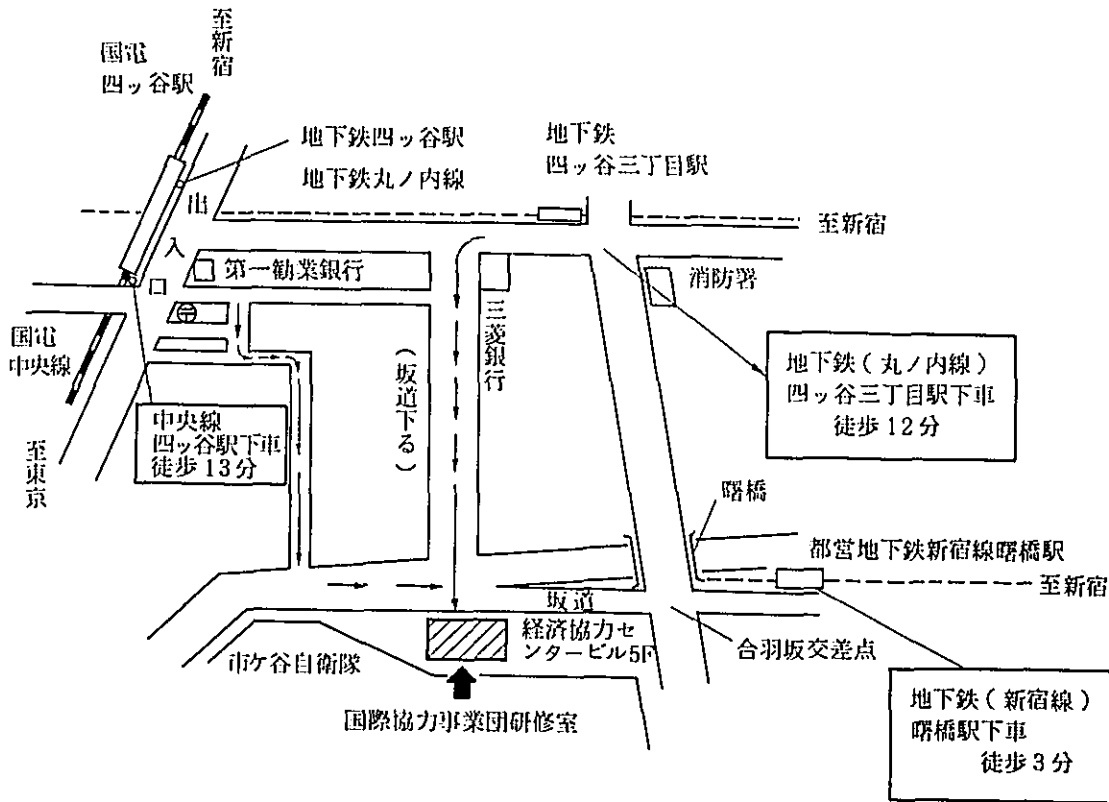
3. 研修場所 東京都新宿区市ヶ谷本村町42番地

経済協力センタービル別館5階

国際協力事業団研修室

TEL 東京 03-355-6432・6434

(研修期間中の電話)



4. 研修に関する連絡先

国際協力事業団 鉱工業開発協力部

電話 東京03-346-5300 渡辺

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番地

新宿三井ビル内私書箱216号

研修日程概要

時期	5 月			6 月				7 月				備 考	
	第 週	第 1 週	第 2 週	第 3 週	第 4 週	第 5 週	第 6 週	第 7 週	第 8 週	第 9 週	第 10 週		第 11 週
資源電力コース	開講式 5月14(木)											閉講式 7/20 ~ 7/25 7/27(月)	専門講義の時間配分 講義 13.30 ~ 15.00 講師との意見交換 15.10 ~ 16.00
	9.15			英(西) 会 話				英(西) 会 話					
	12.15			現 地 研 修				現 地 研 修					
	13.30~ 16.00												
16.00~ 17.00			諸 打 合 せ ・ 討 論 等				諸 打 合 せ ・ 討 論 等						

< 研修日程 >

項目 日数	年月日	曜 日	午 前		午 後			
			9:15 ~ 12:15		13:30 ~ 16:00		16:05 ~ 17:00	
			科 目	講 師 名	科 目	講 師 名	科 目	
1	56. 5.14	木	開 校 式・諸 連 絡		コース別ガイダンス・英語クラス分けテスト又は西語ガイダンス		諸打合せ・討論等	
2	15	金	一 般 研 修	国際協力の現状 と問題点	一 般 研 修	国際協力事業団の組織と機能・専門家派遣制度等	"	
3	16	土		先進国の技術協力の 現状				
4	17	日						
5	18	月		地域概論(1) 東南アジア地域		佐村 敏二 アジア経済 研究所 助向分析部	地域概論(1)東南アジア地域 各コース別討論分科会	"
6	19	火		地域概論(2) 中東地		林 武 アジア経済 研究所調査役	" (2)中東地域	"
7	20	水		地域概論(3) 中南米地域		G. アントラーデ 上智大学教授	" (3)中南米地域	"
8	21	木		地域概論(4) アフリカ地域		青木一能 日本大学(国 際関係学部 講師)	" (4)アフリカ地域	"
9	22	金		語 学 研 修 (共 通)			研 政治経済を中心とした南北問題	川 田 侃 上智大学教授
10	23	土	"					
11	24	日						
12	25	月	"		修 発展途上国における宗教と社会	梶 村 昇 亜細亜大学教授	"	
13	26	火	"		専門家と異文化接触	室 靖 東和大学教授	"	
14	27	水	"		専 鉱工業協力の現状	岡 藤 栄 助 事業団鉱工業用開発協力部長	"	
15	28	木	"		開発理論の系譜	樋 口 進 成蹊大学教授	"	
16	29	金	"		"	"	"	
17	30	土	"					
18	31	日						
19	6. 1	月	"		研 専門 プロジェクトの計画と評価	山 本 鏡 造 日本港湾コンサルタント	"	
20	2	火	"			"	"	
21	3	水	"			"	"	
22	4	木	"			"	"	
23	5	金	"			"	"	
24	6	土	"			"	"	

(注)都合により日程等を変更することがあります。

項目 日数	年月日	曜 日	午 前		午 後			
			9:15 ~ 12:15		13:30 ~ 16:00			16:05 ~ 17:00
			科 目	講 師 名	科 目	講 師 名	科 目	
25	56. 6. 7	日						諸打合せ・討論等
26	8	月	語学研修 (共通)		技術移転論	斉藤 優	中央大学教授	"
27	9	火	"		"	"	"	"
28	10	水	"		"	"	"	"
29	11	木	"		経済技術協力の現状	井上 宣時	通産省経済協力課長	"
30	12	金	"		我が国産業の現状と問題点	熊野 英昭	" 産業構造課長	"
31	13	土	"					
32	14	日						
33	15	月	語		国家開発計画の策定	樹下 明	電源開発(株)	"
34	16	火			総合開発プロジェクト	"	"	"
35	17	水			エネルギー政策とLDC	安楽 隆三	通産省国際資源課長	"
36	18	木			プラント輸出の現状と今後の方向	坂倉 省吾	" 機械情報産業局通商課長	"
37	19	金	学	現地研修	現	地	研	修
38	20	土		"				
39	21	日						
40	22	月	研	語学研修 (共通)	資源開発の現状	大町 北一郎	山形大学教授	"
41	23	火		"	"	"	"	"
42	24	水		"	海外鉱山開発の経験	山口 武時	三井金属鉱業(株)	"
43	25	木		"	" 電力開発の現状	北沢 仁	電源開発(株)	"
44	26	金		"	" " の経験	野沢 陸	日本工営(株)	"
45	27	土	修	"				
46	28	日						
47	29	月		"	" 地熱開発の現状	与良 三男	日本地熱資源開発促進センター	
48	30	火		"	" 石炭開発の経験	青木 正行	兼松江商(株)	
49	7. 1	水		"	技術英語			

項目 日数	年月日	曜日	午前		午後		
			9:15 ~ 12:15		13:30 ~ 16:00		16:05 ~ 17:00
			科目	講師名	科目	講師名	科目
50	56. 7. 2	木	語学研修 (共通)		技術英語		諸打合せ・討論等
51	3	金	"		"		"
52	4	土	"				
53	5	㊦					
54	6	月	"		"		"
55	7	火	"		"		"
56	8	水	"		"		"
57	9	木	"		"		"
58	10	金	"		"		"
59	11	土	"				
60	12	㊦					
61	13	月	"		"		"
62	14	火	"		"		"
63	15	水	"		語学研修(共通)		"
64	16	木	"		"		"
65	17	金	"		"		"
66	18	土	"				
67	19	㊦					
68	20	月	現地研修		現地研修		
69	21	火	"		"		
70	22	水	"		"		
71	23	木	"		"		
72	24	金	"		"		
73	25	土	"		"		
74	26	㊦					
75	27	月	最終エバリュエーション		閉講式		

